

法人本部

健康推進室の設置、Web 会議、電子申請、経費精算システムの普及拡大、投資管理委員会の設置など中期事業計画を推進する基盤整備に努めてきた。情報システム面では情報ネットワーク整備やサイバーセキュリティ対策の強化を図り、円滑かつ安全な情報管理を目指す。人材面では多様な人材の活躍と働きやすい環境づくりのため、健康経営の推進、両立支援の強化や管理職評価の充実を図る。運用面では労務業務の集約化を目指した準備や内部監査の精度向上に努める。さらに聖隷の 2030 年の姿を見据えた聖隷みらい創造プロジェクトの議論を開始する。

1. 社会福祉法人として最高の質・使命の追求と地域共生社会を実現する
2. 聖隷 DX（デジタルトランスフォーメーション）をさらに推進する
3. 大規模広域法人としての強みを活かした機能を発揮する
4. 人材の確保と育成を推進する
5. ディーセント・ワーク（人生と両立できる働きがいのある仕事）を推進する
6. 現有資源を有効に活用し経営環境の急変にも揺るがない財務体質とする

各部署は、次の年度事業目標（重点施策）を策定する。

[総務部]

1. 地域における公益的な取組等を適切かつ積極的に情報開示する
2. 電子申請のさらなる活用によりペーパーレス化・業務効率化を推進する
3. 情報発信のペーパーレス化を行う
4. 稟議書・契約書の電子化に向けて検討する
5. 広域防災対策本部としての役割の見直しをする
6. 労務業務の集約化に向けて準備する
7. 次世代の総務役職者を育成する
8. 「いつでも」「どこでも」学習できる教材の配信を検討する
9. 両立支援のための休暇などについて制度の検討・導入を図る
10. 医師等専門職の働き方及び処遇の検討をする
11. 福利厚生サービスの検討をする

[人事企画部]

1. 多様な人材・必要な人材を採用する
2. 多様な人材が活躍できるよう育成を行う
3. 公正公平な人事評価を実現する
4. 職員が働きやすい環境づくりと配置を実現する
5. 採用・育成・配置に関する業務の DX を推進する

[財務部]

1. BS 経営、CF 経営の推進により事業団経営管理機能を強化する
2. 聖隷 DX による業務改革を推進する
3. 経理職員の育成を行う
4. 環境問題、災害対策に取り組む

[総合企画室]

1. 2030 年を見据えた事業計画立案に向けて取り組む
2. 効果的な経営支援の実践を通して経営を担う人材を育成する
3. 全国の社会福祉法人の模範となるような広報活動を推進する

[総合情報システム部]

1. ICT を活用した情報基盤の整備と聖隷DXを推進する
2. 事業団各事業部におけるシステム導入を支援する
3. 将来の情報部門の在り方検討と人材の最適配置を行う
4. 情報部門に必要とされる人材の育成と確保に取り組む
5. オンラインコミュニケーションツールの利用拡大と情報セキュリティを強化する

[監査室]

1. 内部監査の精度を向上させる
2. 内部通報制度を充実させる
3. コンプライアンス経営に資する教育活動を実施する